

# 小学生フォーラム

区長の前で意見を言おう

テーマ

## 「自分たちのまちから発信！ 新宿のまちづくり」

とき

### 1 平成17年12月9日(金)午後2時～4時

愛日、市谷、牛込仲之、江戸川、大久保、落合第一、落合第二、落合第三、  
落合第四、落合第六、柏木、花園、余丁町、四谷第六、淀橋第四小学校

### 2 平成17年12月12日(月)午後2時～4時

落合第五、鶴巻、津久戸、天神、戸塚第一、戸塚第二、戸塚第三、富久  
戸山、西戸山、西新宿、東戸山、四谷第三、四谷第四、早稲田小学校

ところ

### 榎町児童センター 2階中高生スペース

(新宿区榎町36番地)

進行役  
進め方

子どもの生き方パートナー <sup>おとだけ</sup>乙武 <sup>ひろただ</sup>洋匡氏

### ステップ1 質問コーナー

#### “区長ってどんなひと？”

なぜ、区長になったの？今一番の悩みは？など  
区長にどんどん質問しよう

### ステップ2 まち自慢コーナー

“こんなところが好き、こんなところを残したい”

まちの自慢したいところを写真にと  
ろう。そして、そのわけは？

### ステップ3 みんなに知ってもらうために

どうしたらいいか

まちの自慢したいところをみんなに知  
ってもらうためにはどうしたらいいか  
その方法を考えてみよう

## (小学生フォーラム)

### 1 趣旨

(チラシ 裏面)

新宿区では、子どもの生きる力と豊かな心を育てるために、子どもの権利を大切にすることを充実していきたいと考えています。

このため、従来から、小学生の区政に対する関心や意識を高める機会として、区長等の前で意見を述べる小学生フォーラムを実施し、子どもの施策への参画を促す機会をもってきました。

現在、新宿区では、区の将来像や基本的な理念を示す「新宿区基本構想」や基本構想を実現するために、区の基本目標や施策の方向性を体系的に示す「新宿区基本計画」等の見直しにあたり、公募による区民委員と学識経験者を構成員とする「区民会議」に提言をいただくこととしています。

この機会をとらえ、次代の新宿を担っていく子どもたちの意見も基本構想等の見直しに、反映するため、小学生フォーラムにおいて、新宿のまちづくりについての意見を表明していただきたいと考えています。

### 2 進め方

“まちづくり”という大きなテーマについて子どもたちの率直な意見を引き出すために、従前の進め方をいくつか変更しました。

#### (1) ワークショップ形式

あらかじめ用意してきた作文を読み、それに区長が答えるのではなく、ワークショップ形式により、子どもたちが、参加しながら考え、創り上げていくプロセスを大切にします。

このため、子どもの生き方パートナー 乙武洋匡氏を、ワークショップの進行役とし、乙武氏が、子どもたちの意見を引き出し、子どもたちの意見を代弁し、区長への橋渡しをします。

#### (2) テーマの設定

子どもたちが、自分が暮らす身近なまちのよさを発見し、それをどう発信していくかを話し合ってもらうことにより、新宿のまちに愛着や誇りをもてるようにしたいと考えて設定しました。

#### (3) ステップ1 (質問コーナー “区長ってどんなひと?”)

はじめに、子どもたちが、区長に聞きたいことを自由に質問し(または、乙武氏が子どもたちの質問を代弁することにより)、子どもたちが区長の人柄や思いを知り、緊張を和らげ、話しやすい雰囲気づくりができればと考えています。

#### (4) ステップ2 (まち自慢コーナー)

子どもたちが住んでいるまちについて、日頃感じている“自慢したい”ところとその理由などを語ってもらい、それによって子どもたちが感じているまちへの愛着や誇りからあるべきまちの姿や将来像が見えてきます。子どもたちの“自慢”から“こんな新宿にしたい”という姿が浮かび上がってきたらと考えています。自慢の対象は、“まち”ですから、自然、施設、おまつりなどのイベント、区民同士のふれあいなど、まちを構成しているソフト・ハードどちらでも構いません。自慢したいところの写真となぜそこを自慢したいかを事前に提出いただきます。

#### (5) ステップ3 (みんなに知ってもらうためにはどうしたらいいか)

子どもたちが自分たちのまちで自慢したいところをみんなに知ってもらいたいと思うとき、初めて他の人とのかかわりや交流が生まれます。“こんな新宿にしたい”という思いを発信し広めていくことが、みんなでまちを担っていくはじめの一歩になります。

### 3 事前に提出していただくもの

別紙様式

- (1) 区長に聞きたいこと
- (2) 自慢したいところの写真1枚と自慢したいわけ
- (3) みんなに知ってもらう方法

### 4 問合せ先

〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1  
新宿区福祉部子ども家庭課 子ども家庭支援係 Tel.5273-4544

# 中学生フォーラム

区長の前で意見を言おう

テーマ

「10年後の新宿のまち」

とき

平成18年1月10日(火)午後3時～

ところ

榎町児童センター 2階中高生スペース

(新宿区榎町36番地)

進行役

子どもの生き方パートナー おとたけ ひろただ 乙武 洋匡氏

進め方

ステップ1 質問コーナー

“区長ってどんなひと?”

なぜ、区長になったの?今一番の悩みは?など  
どんどん質問しよう

ステップ2 “新宿”といえは

新宿のイメージって?

あなたにとって新宿のまちってどんなところ?  
いいところ、わるいところいろいろあるとおもうけど、  
今感じていることをどんどん出そう

ステップ3 もう一度、訪れたいまちにするには

世界の国々から新宿に来た人たちが、ぜひ、もう一度来たいと思う魅力的なまちにするためには?

例えば、**名物料理**

**イベント(文化、芸術、スポーツ)**

**まちなみ**

## 1 趣旨

新宿区では、子どもの生きる力と豊かな心を育てるために、子どもの権利を大切にする取組みを充実していきたいと考えています。

このため、従来から、中学生の区政に対する関心や意識を高める機会として、区長等の前で意見を述べる中学生フォーラムの実施し、子どもの施策への参画を促す機会をもってきました。

現在、新宿区では、区の将来像や基本的な理念を示す「新宿区基本構想」や基本構想を実現するために、区の基本目標や施策の方向性を体系的に示す「新宿区基本計画」等の見直しにあたり、公募による区民委員と学識経験者を構成員とする「区民会議」に提言をいただくこととしています。

この機会をとらえ、次代の新宿を担っていく子どもたちの意見も基本構想等の見直しに反映するため、中学生フォーラムにおいて、新宿のまちづくりについての意見を表明していただきたいと考えています。

## 2 進め方

“まちづくり”というテーマについて子どもたちの率直な意見を引き出すために、従前の進め方をいくつか変更しました。

### (1) ワークショップ形式

あらかじめ用意してきた作文を読み、それに区長が答えるのではなく、ワークショップ形式により、子どもたちが、参加しながら考え、創り上げていくプロセスを大切にします。

このため、子どもの生き方パートナー 乙武洋匡氏を、ワークショップの進行役とし、乙武氏が、子どもたちの意見を引き出し、子どもたちの意見を代弁し、区長への橋渡しをします。

### (2) テーマの設定

新基本構想の目標年度は平成 37 年度、基本計画の計画期間は平成 29 年度までを予定しています。このため、子どもたちには、基本計画の計画期間を想定した 10 年後の新宿のまちについて考えていただくこととしました。

### (3) ステップ1 (質問コーナー “区長ってどんなひと?”)

はじめに、子どもたちが、区長に聞きたいことを自由に質問し(または、乙武氏が子どもたちの質問を代弁することにより)、子どもたちが区長の人柄や思いを知り、緊張を和らげ、話しやすい雰囲気づくりができるようにします。

### (4) ステップ2 (“新宿” といえば 新宿のイメージって?)

まず、子どもたちが新宿のまちの現状を把握するところからはじめます。乙武氏の“新宿” といえば” という問いかけを通じて、子どもたちが自分たちのもっている新宿のイメージをどんどんふくらませていきます。

### (5) ステップ3 (もう一度訪れたいまちにするには)

新宿のまちについて考えるに際し、都市観光という切り口を用意しました。

新宿は、西口の都庁や高層ビル群、世界屈指の繁華街の歌舞伎町をはじめ、旅行者が一度は行ってみたいと考えるまちです。しかし本当に魅力のあるまちは、訪れた人たちがもう一度訪れたいと思うまちではないでしょうか。このことを、観光には欠かせない景観(まちなみ)、食事(名物料理)、イベントなどを具体的に考えることによって、新宿のまちを、歴史や文化を踏まえた賑わいのあるまちにしていくためにどうしたらいいか考えていただきます。

## 3 事前に提出していただくもの

別紙様式

- (1) 区長に聞きたいこと
- (2) 新宿といえば
- (2) もう一度訪れたいまちにするには(名物料理、イベント、まちなみ)

## 4 問合せ先

〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1

新宿区福祉部子ども家庭課 子ども家庭支援係 Tel.5273-4544